

# 令和2年度 コンセッション事業推進セミナー

## 愛知県道路公社の有料道路コンセッションについて ～ 有料道路管理の新たな枠組みで地方創生を～

2020年12月22日

**愛知県** 建設局 道路建設課 有料道路室  
室長 河合 誠

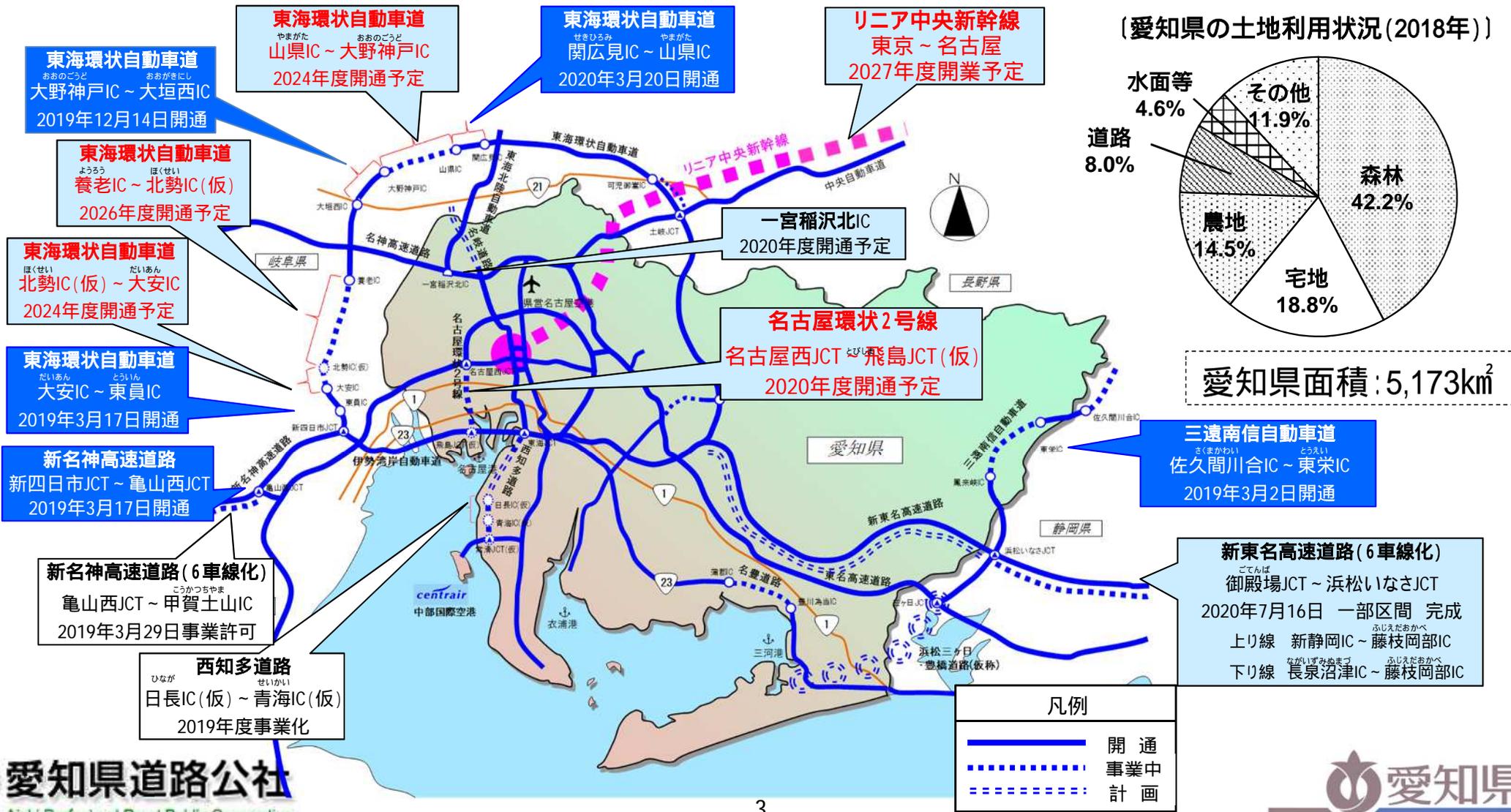
# 御説明の内容

- 愛知県の紹介
- 有料道路コンセッション導入の経緯
- 有料道路コンセッションの概要
- 事業スキーム
- 優先交渉権者の選定の概要
- コンセッション開始後の運営状況
- まとめと展望



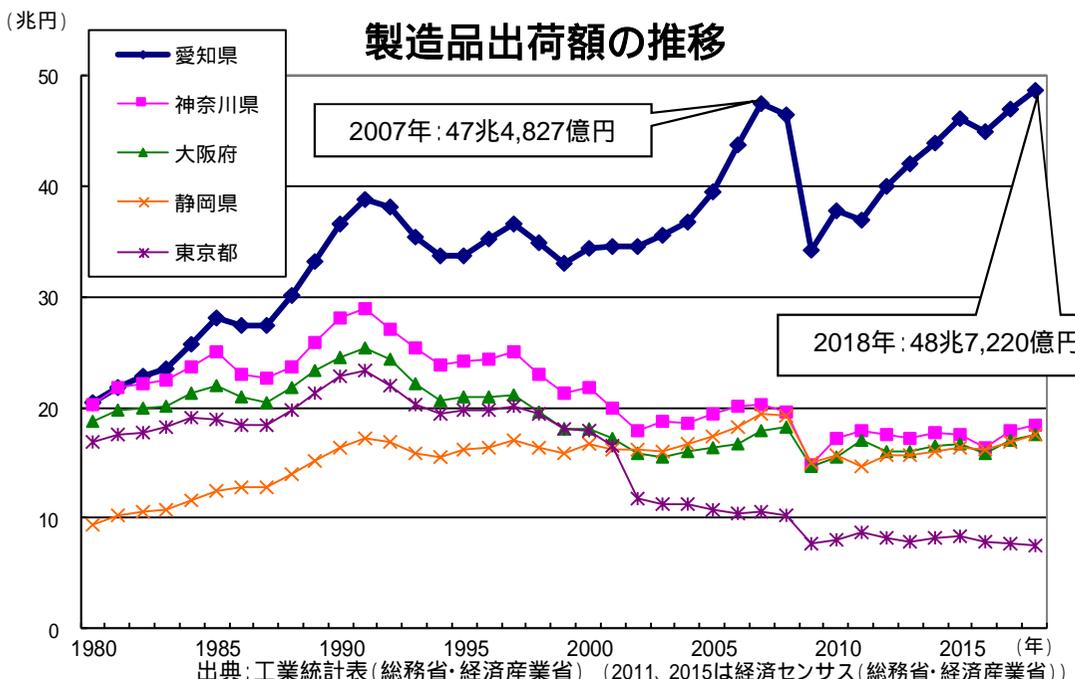
# 愛知県の紹介

**国土のほぼ中央**に位置し、大都市圏である一方で、森林や農地の割合も高く、緑も豊か  
 高速道路、新幹線、名古屋港、中部国際空港など、陸・海・空の優れた交通条件  
 2027年度には**東京 - 名古屋間を40分で結ぶリニア中央新幹線**が開業予定



# 愛知県の紹介

愛知県の**製造品出荷額等**(2018年)は、48兆7,220億円(過去最高)で**42年連続日本一** 2位(神奈川県:18兆4,431億円)以下を大きく引き離す  
**県内総生産**は、40兆2,998億円(2017年度)で、大阪を抜いて**全国第2位**。



## 愛知の(全国シェア1位)の業種(10業種)

- 輸送用機械器具** (全国シェア 38.4%) 26兆9,342億円
- 電気機械器具** (全国シェア 15.6%) 2兆9,356億円
- 業務用機械器具** (全国シェア 13.9%) 9,607億円
- 鉄鋼** (全国シェア 13.5%) 2兆5,130億円
- ゴム製品** (全国シェア 12.9%) 4,308億円
- プラスチック製品** (全国シェア 12.5%) 1兆6,248億円
- 窯業・土石製品** (全国シェア 11.3%) 8,845億円
- 生産用機械器具** (全国シェア 10.9%) 2兆4,027億円
- はん用機械器具** (全国シェア 10.2%) 1兆2,647億円
- 繊維工業** (全国シェア 9.9%) 3,753億円

## (県内総生産(生産側、名目))

順位		2017年度(円)	全国シェア	人口(人)
	全国	561兆5,234億	-	12,671万
1	東京	106兆2,382億	18.9%	1,372万
2	<b>愛知</b>	<b>40兆2,998億</b>	<b>7.2%</b>	<b>752万</b>
3	大阪	40兆0,700億	7.1%	882万

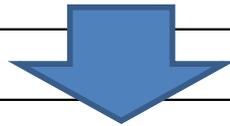
出典: 2017年度県民  
 経済計算(内閣府)

出典: 2019年工業統計表(確報)  
 (総務省・経済産業省)

# 有料道路コンセッション導入の経緯

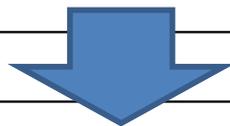
愛知県道路公社の管理する有料道路について、民間事業者による運営の検討開始

- ✓ 日本一元気な愛知を牽引する原動力として、民間の力が必要。この民間の力が最大限発揮されるためには規制改革が重要。
- ✓ これまでの我が国ではインフラの運営は官が独占。PFI法の改正によりコンセッションが制度化されたが、道路は対象外。この状況をまず愛知から打開したい。



道路整備特別措置法では、一般国道又は都道府県道を新設又は改築し、料金を徴収できる者は地方道路公社及び道路管理者に限定

- ✓ 第10条（地方道路公社の行う一般国道等の新設又は改築）
- ✓ 第18条（有料道路管理者の行う道路の新設又は改築）



これらの制限を緩和し、民間事業者による有料道路事業（道路整備特別措置法）の運営を認める、構造改革特区制度による規制の特例措置に関する提案を実施（2012.2）

- ✓ 2015年7月8日 構造改革特別区域法の一部を改正する法律が国会で成立  
公社管理道路の民間事業者による運営が可能に  
民間事業者による料金の收受  
上限料金の範囲内における民間事業者による料金の決定  
安全や利用者利便の確保
- ✓ 2015年9月9日 愛知県 国家戦略特別区域 区域計画が国により認定  
愛知県において公社管理道路の民間事業者による運営が可能に

# 有料道路コンセッションの概要（対象路線）

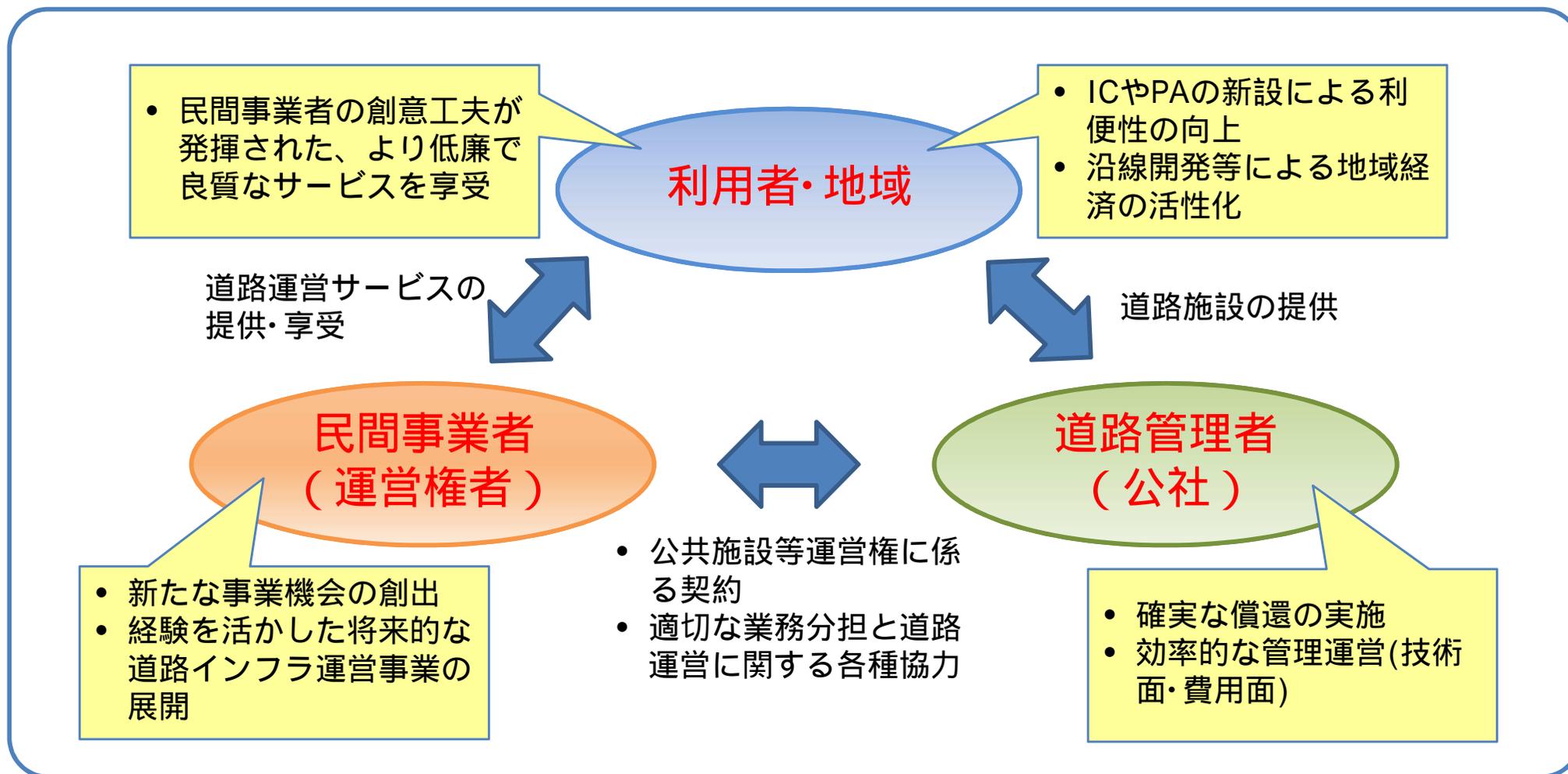


有料道路名			延長 (km)
道路整備特別措置法	知多4路線	知多半島道路	20.9
		南知多道路	19.6
		知多横断道路	8.5
		中部国際空港連絡道路	2.1
	衣浦トンネル	1.7	
	猿投グリーンロード	13.1	
	衣浦豊田道路	4.3	
	名古屋瀬戸道路	2.3	



中部国際空港連絡道路

## 愛知有料道路コンセッションが目指す「三方良し」の姿

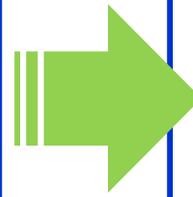


# 有料道路コンセッションの概要

## 公社・運営権者の役割分担

### 事業開始前

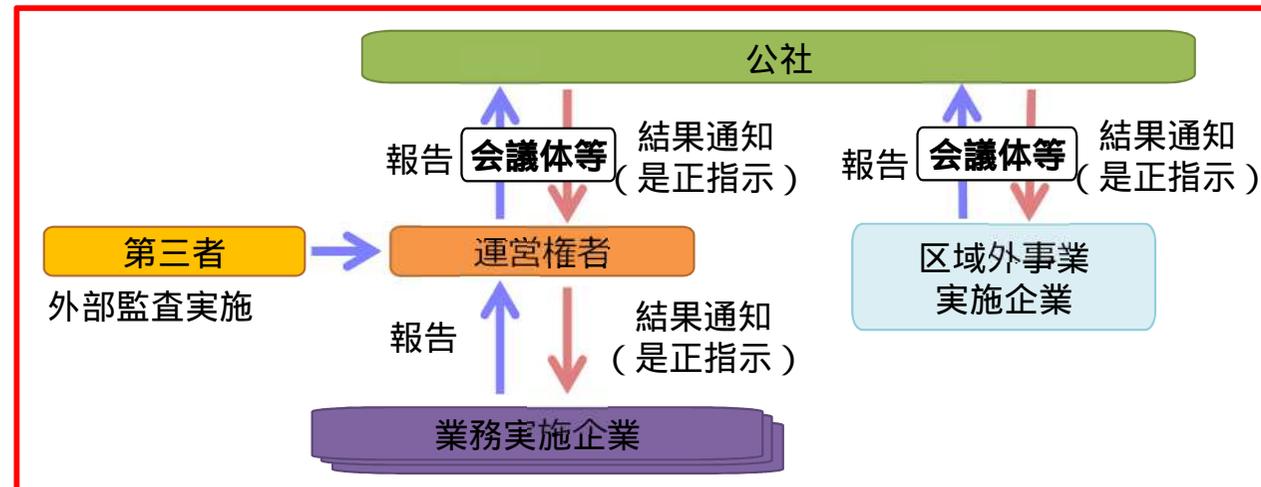
公社 [職員数 92人 (2016.4)]	資産・負債の管理	
	維持管理・運 営業務	交通管理業務
		維持業務
		施設点検及び修繕業務
		危機管理対応業務
		運営業務（料金徴収）
利便施設等 運営業務	PAの運営	



### 事業開始後

公社 [職員数 34人 (2017.4)]	資産・負債の管理	
	維持管理・運 営業務	公権力の行使にかかるもの (交通司令業務、道路占用許可など)
運営権者のモニタリング		
運営 権者	維持管理・運 営業務	交通管理業務 (交通司令業務を除く)
		維持業務
		施設点検及び修繕業務
		危機管理対応業務
		運営業務（料金徴収）
利便施設等 運営業務	PAの運営	

## モニタリング体制



● 募集要項公表時に、運営権者に対して公社が要求する最低限の水準を「**要求水準書**」として提示

- 要求水準書＜総則編＞
- 要求水準書＜統括マネジメント業務編＞
- 要求水準書＜維持管理・運営業務編＞
- 要求水準書＜改築業務編＞
- 要求水準書＜利便施設等の運営業務編＞

● 運営権者の持つ創意工夫及びノウハウの活用が期待できる**性能規定の考**  
**え方を一部導入**

要求レベル	概要	適用業務
仕様規定	頻度、実施方法等を規定するもの	異常の確認が必要な業務、サービスレベルに直結する業務、関係法令、他者との協定・契約等で実施頻度が規定される業務
性能規定	要求する性能と性能の照査方法を規定するもの	必要となる条件を規定すればよい業務、運営権者が自主的に判断・実施する業務





# 有料道路コンセッションの事業スキーム（リスク分担）

民間事業者に過度な負担を強いることなく、**リスクを官民で適切に分担**することで、**事業全体の効率性を高める**ことを狙う。

## リスク分担（抜粋）

区分	公社	民間
経済リスク		
需要変動リスク (通行料金収入変動)		
不可抗力リスク (地震・豪雨等による 自然災害等)		
競合路線リスク		



• 市場変動による物価変動は、一定の割合(1.5%)を超える増減について公社が負担又は公社に帰属



• 予測交通量に対する収入の増減分は、一定の割合(6%)を超えるものについて公社が負担又は公社に帰属



• 軽微な範囲の災害を除き、公社が災害復旧費用を負担



• 競合路線の新規開設等による計画収入額からの乖離は公社が負担若しくは公社に帰属

# 優先交渉権者の選定の概要

- 募集要項を公表したところ、**5グループから応募**
- 民間事業者選定委員会において、第一次審査を行い、評価点が**上位の3グループを第二次審査参加者として選定**
- 第二次審査参加者3グループと行った競争的対話を経て、**2グループが第二次提案**  
(1グループは実施体制が構築できないとして参加を辞退)

➡ 第二次審査の結果、評価点で上位となった**「前田グループ」**を優先交渉権者として選定(2016.6.24)

評価において重点を置いていた事柄

- **「運営権対価の提案額」**は、1,377億円で高く評価  
(最低提案価格1,219.77億円より約157億円高い提案)
- **「地域の活性化」**は、創意工夫を活かした積極的な取組が盛り込まれていたことを高く評価
  - 1. 阿久比PA上り連結型事業『**愛知多の大地**』
  - 2. コンベンションの拠点化事業  
『中部りんくう都市(空港島) **インターナショナルブランドホテル**』
  - 3. 環境取組の拠点化事業『**地域産業連携 バイオガス事業**』
  - 4. 物流の拠点化事業『**地域産業連携型 物流事業**』

## 優先交渉権者「前田グループ」 2016.8.3愛知道路コンセッション(株)[ARC]設立

代表企業：前田建設工業(株)

構成企業：森トラスト(株)、大和ハウス工業(株)、大和リース(株)、セントラルハイウェイ(株)

連携企業：Macquarie Corporate Holdings Limited

# 有料道路コンセッション開始後の運営状況について（交通量等）

通行台数（2016年度と2019年度の比較）

（単位：千台）

	2016年度 A	2017年度	2018年度	2019年度 B	差 C=B-A	伸び率 C/A
8路線合計	65,756	67,653	70,567	70,104	4,348	6.6%

通行料金収入（2016年度と2019年度の比較）

（単位：千円）

	2016年度 A	2017年度	2018年度	2019年度 B	差 C=B-A	伸び率 C/A
8路線合計	17,222,822	16,773,521	17,461,738	17,448,336	225,514	1.3%

各年度の計画料金収入と通行料金収入の比較

（単位：千円）

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
8路線合計	-	15,772,581	15,767,936	15,949,808
		計画比 /	計画比 /	計画比 /
通行料金収入 /計画料金収入		106.3%	110.7%	109.4%



# 有料道路コンセッション開始後の運営状況について（2月以降交通量）

## コロナ禍の交通量（前年比）推移



## 日平均通行台数（単位：台）

	日平均	前年同期	前年比
2020年2月	178,724	190,482	93.8%
2020年3月	162,232	202,230	80.2%
2020年4月	125,694	196,471	64.0%
2020年5月	121,450	196,249	61.9%
2020年6月	150,761	192,388	78.4%
2020年7月	153,905	197,865	77.8%
2020年8月	166,263	207,058	80.3%
2020年9月	166,503	205,142	81.2%
2020年10月	166,921	190,246	87.7%

## 維持管理運営業務の状況

- 通常時や不測の事態における対応状況
  - ・民間では実績がない中で公社のサポートもあり、**公社運営時と同様の管理、サービス水準を維持**
  - ・台風、大雪などの**異常気象時や交通事故発生時においても迅速かつ適切に対応**
- 業務効率化の取組
  - ・**モバイルカメラ**を活用したテレビ会議システムの導入により、現場の作業者と事務所の責任者をリアルタイムに繋げ早期に対応
  - ・**ドローン**を用いた実証実験（災害時の被災状況確認、橋梁の近接点検）
  - ・**コンクリートポンプ車**をロボットの脚と腕として活用した遠隔操作による近接目視点検の試行
  - ・発注者としての積算の省略・見積もり・交渉による**発注手続きの簡素化**や、一部業務における**発注の包括化**



モバイルカメラを活用した  
テレビ会議システムの導入  
（事故発生時の事務所内映像）



被災状況確認のための試験飛行  
（衣浦豊田道路 牛田料金所周辺）



コンクリートポンプ車を  
活用した橋梁点検  
（猿投グリーンロード）

# 有料道路コンセッション開始後の運営状況について（新技術）

## 愛知アクセラレートフィールドの概要

- ベンチャー企業や大学などの先進技術保有者に、有料道路のインフラ施設を実証実験のフィールドとして無償で提供



## エントリー募集課題

 課題番号 0005 長期間低コストでインフラ施設をモニタリング 募集期間：2019年7月1日～2019年7月31日 公開準備中	 課題番号 0004 3Dデータ活用によるインフラ維持管理の効率化(CIMによる維持管理の効率化) 募集期間：2019年5月8日～2019年6月7日 募集中	 課題番号 9999 自由テーマによる先進技術の提案窓口 募集期間：3期間設けます（ここをクリックしてご確認ください） 公開準備中
 課題番号 0003 逆走車両・歩行者の侵入防止 2018年11月5日～2018年12月4日 募集終了	 課題番号 0002 走行車両の乗り心地・安全性の改善 募集期間：2018年9月10日～2018年10月9日 募集終了	 課題番号 0001 橋梁の痛み具合を安価に数値化 募集期間：2018年8月6日～2018年9月28日 募集終了

## 3つの特徴

<p><b>01</b></p> <p>実際に供用されている施設を無償で利用して技術実証を行うことができます。</p>	<p><b>02</b></p> <p>参加条件を満たせば業界を問わずなたでもエントリーすることができます。</p>	<p><b>03</b></p> <p>技術の有用性が確認されたものについては、積極的に実務で活用していきます。</p>
---	--	--

- 実際に供用されている施設を無償で利用可能
- 条件を満たせば業界を問わずエントリー可能
- 有用性が確認されれば積極的に実務で活用

## 利便施設等運營業務の状況

### ➤ 利用促進の取組

- ・2017.11に運営開始1周年を記念し、知多4路線及び衣浦トンネルが**1日乗り放題**となる「**1DAYチケット**」を販売、以降も定期的に実施しており、2019.3からは衣浦豊田道路も追加、本年4月に7回目実施
- ・知多半島道路の大府PA（上り）、阿久比PA（下り）において、建物が**世界的建築家の監修によるデザイン**に一新、**有名パティシエ・イタリアンシェフ・和食料理人3名の監修による地元食材を使ったメニューや土産品**など、地域の魅力溢れる施設を展開（**2018.7.18リニューアルオープン**）



1DAYチケットのチラシ



PAオープニングセレモニー



阿久比PA（外観）



大府PA内レストラン

## 利便施設等運営業務の状況

### ➤ 地域活性化の取組

- ・ **地元店舗がキッチンカー**によりP Aに出店しP R
- ・ 地元のJ Aや企業、観光協会とタイアップした**地域製品のP Rイベント**をP Aで実施（運営開始から2020年10月末までに計57回開催）
- ・ **交通安全の啓発活動と地域P R**の一体型大規模イベント「**SAFETY SANTA RUN**」開催
- ・ 地域産品を用いた**地域ブランド商品の開発**を支援
- ・ 地域の文化、観光、食などの魅力を発信する**ブランドブック**の発行など**地域ブランドの発掘**



あいち知多牛PRイベント（JAあいち知多連携）

地域の魅力をPRするブランドブック



期間限定 ● 塩レモン

名古屋  
パティシエかりんとう

出会いが積み重なった逸品  
**nagoya patissier karinto**

新しい食感との出会いにこだわり  
パイ生地を幾層にも重ね  
体験したことのない“洋風かりんとう”の食感。

爽やかなレモンと知多半島の“美浜の塩”が出会い  
生まれた風味は  
大人にも満足いただける本格的なスイーツです。

nagoya patissier karinto 開発商品（名古屋パティシエかりんとう）



SAFETY SANTA RUN  
開催状況

# 有料道路コンセッション開始後の運営状況について（まとめ）

## これまでのまとめと展望

### ➤ 取組状況の公表

- ・コンセッションの**これまでの取組状況とその評価**を取りまとめ、広く情報提供を行うため、**愛知県道路公社HP** (<http://www.aichi-dourokousha.or.jp/archives/29629/>) に掲載

### ➤ 今後の課題

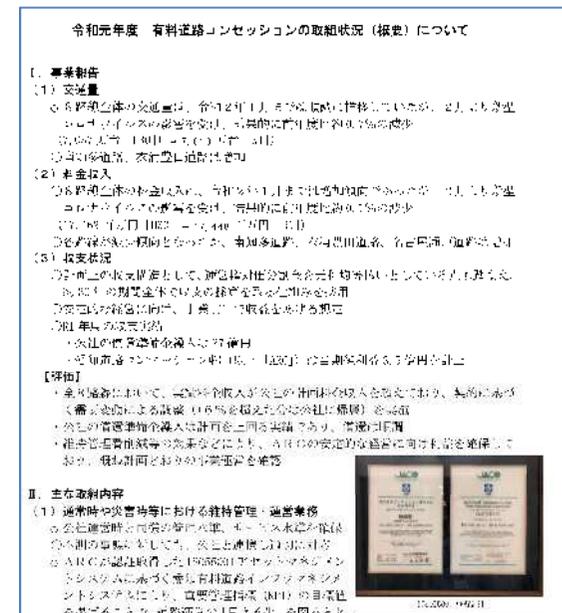
- [短期]・実施契約書、要求水準書等で明確に**謳われていない事象に対する公社・ARC間の協議**
- [長期]・PFI導入の**効果の定量化** 研究課題
- ・事業区域外任意事業の**実現**

### PPP/PFI推進アクションプラン（2020年改定版）抜粋

『**運営事業者にコンセッション事業に密接に関連する「建設」「製造」「改修」を認めた方が、民間本来のノウハウを一層活用した事業を行うことができる場合がある。**このため、運営事業者により実施することが可能な範囲を明確化し、民間事業者が創意工夫を活かしやすい環境整備を図るため、PFI法の改正を含めて検討を行う。』

### ➤ おわりに

- ・事業開始後、4年余りが経過したが、これまで述べたように民間ならではの工夫で、**常に効率化を目指す取組や、道路の利用促進に向けた取組が積極的に行われていることなど、民間運営による効果が現れつつある**と考えている。
- ・本コンセッションは**約30年間にわたる長期のプロジェクト**である。民間による適切な運営はもとより、**地域活性化事業の効果が道路利用者や地域に一層広がっていくよう、愛知県としても着実に取り組んでいきたい。**



公社HP（取組状況（概要版）抜粋）

ご清聴  
ありがとうございました

